



5月31日(土)は世界禁煙デー
5月31日(土)～6月6日(金)は禁煙週間

5月31日の「世界禁煙デー」は、タバコを吸わないことが社会習慣になることを目指して、世界保健機関(WHO)の決議により定められ、世界的に禁煙や受動喫煙防止に取り組んでいる日でもあります。

また、日本では厚生労働省が世界禁煙デーからの1週間(5月31日～6月6日)を「禁煙週間」と定め、日本中で様々なタバコ対策を推進しています。

当町では、年間を通して各小学校6年生を主な対象として「タバコ問題を考える会・千葉」に依頼し、喫煙防止教育を実施しています。児童には事前と事後にアンケート調査をしており、下表のとおり将来吸いたくないという児童が多数でした。また、「親には病気になるってもらいたくないから、

やめてもらえようという話です。」という児童も多くいました。

タバコは喫煙する本人だけでなく、受動喫煙で周囲の方にも健康被害があることがわかっています。それでも「やめたくない」「やめられない」という気持ちは、意志が弱いからではなく、刺激・習慣性の強いニコチンという薬物が原因です。このニコチン依存を脱出するには、いろいろな方法があります。

自分の意志で禁煙する方法以外に、(※1)ニコチンパッチ・ニコチンガム(※2)内服による治療法があります。禁煙するかはご自身で決めていただきますが、子どもたちの健康と未来のために、何をすべきか考えていきましょう。

各小学校6年生を対象としたアンケート(一部)

	将来タバコを吸いたい	将来タバコを吸いたくない
事前アンケート	7人	255人
事後アンケート	4人	253人

※事後アンケート回収時に欠席児童5人あり

※1 薬局で購入できますが使用方法をよく確認してください。
 ※2 禁煙外来のある病・医院を受診しましょう。

◆問い合わせ
 健康管理課健康管理班
 ☎(82)3400

総合病院国保旭中央病院からのお知らせ

お薬の後発医薬品(ジェネリック医薬品)への切り替えを行っています

国では、病院窓口でのみなさんのお支払いの負担軽減と医療費削減を図っています。そのひとつとして、後発医薬品(ジェネリック医薬品)の利用を促進しており、当院でも、後発医薬品への切り替えを行っています。切り替えのため、診察及び薬の待ち時間が通常より長くなっていますのでご了承ください。また、一度に複数の薬剤が後発医薬品に変更となる場合がありますので、服用(使用)の際には、お薬とともにお渡しする「変更のお知らせ」を必ずご確認ください。

ご不明な点は、お問い合わせください。

◆問い合わせ

総合病院国保旭中央病院 ☎63-8111

